

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月23日 (2008.10.23)

【公開番号】特開2007-72605(P2007-72605A)

【公開日】平成19年3月22日 (2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2005-256858(P2005-256858)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/20 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 15/00 3 3 0 D

G 0 6 F 12/00 5 3 7 D

G 0 6 F 12/14 5 2 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月5日 (2008.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オブジェクトへのアクセスを制御する情報処理装置であって、  
 複数のユーザが重複してログイン可能なログイン手段と、  
 前記ログイン手段を介してログインした各ログインユーザがアクセス可能なオブジェクトを、該ログインユーザごとに区別して表示する表示手段と、  
前記ログイン手段が複数のユーザのログインを重複して受け付けた場合、当該ログインを受け付けた複数のログインユーザの 1 人がアクセス可能な、前記表示手段により表示されたオブジェクトを、当該ログインを受け付けた複数のログインユーザに含まれる他のログインユーザがアクセス可能となるよう制御するアクセス制御手段と  
 を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記ログイン手段を介してログインした各ログインユーザがアクセス可能なオブジェクトと、該ログインユーザを特定するための識別子とを対応付けたアクセス制御リストを保持する保持手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示手段は、  
前記ログインユーザごとに表示領域をわけて表示することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記アクセス制御手段は、  
前記表示手段により表示された、前記ログイン手段が受け付けた複数のログインユーザの 1 人の表示領域内のオブジェクトが、ユーザにより選択された場合において、該選択されたオブジェクトが、他のログインユーザの表示領域においてアクセス可能なオブジェクトであるか否かを判断することを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

ユーザによるログインを受け付け、該ログインを受け付けたユーザによるオブジェクトへのアクセスを制御するための情報処理装置による情報処理方法であって、

前記情報処理装置に対する複数のユーザによる重複したログインを受け付けるログイン工程と、

前記ログイン工程においてログインした各ログインユーザがアクセス可能なオブジェクトを、該ログインユーザごとに区別して表示する表示工程と、

前記ログイン工程において複数のユーザのログインを重複して受け付けた場合、当該ログインを受け付けた複数のログインユーザの1人がアクセス可能な、前記表示工程において表示されたオブジェクトを、当該ログインを受け付けた複数のログインユーザに含まれる他のログインユーザがアクセス可能となるよう制御するアクセス制御工程と

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項6】

前記ログイン工程においてログインした各ログインユーザがアクセス可能なオブジェクトと、該ログインユーザを特定するための識別子とを対応付けたアクセス制御リストを保持する保持工程を更に備えることを特徴とする請求項5に記載の情報処理方法。

【請求項7】

前記表示工程は、

前記ログインユーザごとに表示領域をわけて表示することを特徴とする請求項5または6に記載の情報処理方法。

【請求項8】

前記アクセス制御工程は、

前記表示工程において表示された、前記ログイン工程において受け付けた複数のログインユーザの1人の表示領域内のオブジェクトが、ユーザにより選択された場合において、該選択されたオブジェクトが、他のログインユーザの表示領域においてアクセス可能なオブジェクトであるか否かを判断することを特徴とする請求項7に記載の情報処理方法。

【請求項9】

請求項5乃至8のいずれか1項に記載の情報処理方法をコンピュータによって実行させるためのコンピュータ読取可能な制御プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の目的を達成するために本発明に係る情報処理装置は以下のような構成を備える。即ち、

オブジェクトへのアクセスを制御する情報処理装置であって、

複数のユーザが重複してログイン可能なログイン手段と、

前記ログイン手段を介してログインした各ログインユーザがアクセス可能なオブジェクトを、該ログインユーザごとに区別して表示する表示手段と、

前記ログイン手段が複数のユーザのログインを重複して受け付けた場合、当該ログインを受け付けた複数のログインユーザの1人がアクセス可能な、前記表示手段により表示されたオブジェクトを、当該ログインを受け付けた複数のログインユーザに含まれる他のログインユーザがアクセス可能となるよう制御するアクセス制御手段とを備える。